



日立製作所では所有している全部の特許・実用新案を全て有償開放しております。

このリストには、日立製作所所有の特許・実用新案で、日立製作所が実際に使用したものの中から、選んで掲載いたしました。

なお、照会・実施のご希望のございます場合は右記までご連絡願います。

問合先：国内関係・日立製作所特許部特許営業グループ

海外関係・日立製作所国際事業部欧米部

電 話：(03) 270-2111 (大代表)

住 所：〒100 東京都千代田区大手町 2-6-2 (日本ビル)

■ 開 閉 器

登録番号	公告番号	名 称	登録番号	公告番号	名 称
実 773761	39-34724	可逆押釦開閉器の互錠装置	実 840222	42-12178	錠前付操作用開閉器
実 753801	39-15312	小形開閉器の接触子装置	実 791879	40-25395	開閉器付端子台
実 761475	39-23248	遮断器のハンドル連結装置	実 868621	43-12017	負荷断路器
実 767733	39-35435	遮断器取付装置	実 766353	39-32065	断路器鎖錠装置
実 771112	39-33505	回路遮断器の2極同時引外し装置	実 729621	38-17519	圧力開閉器
実 779878	40-1470	回路遮断器のプラグイン接続装置	実 821414	41-17484	押ボタン式スイッチ
実 798721	40-26205	熱動過電流継電器	実 809803	41-4741	電動操作開閉器
実 821231	41-16824	電磁接触器	実 786703	40-15713	水銀スイッチ式圧力スイッチ
実 829686	42-295	回路遮断装置	実 753035	39-11465	遠心力開閉器
実 854631	43-6567	電磁接触器の線輪端子取付装置	実 753034	39-11459	遠心力開閉器
実 854661	43-2211	交流電磁石	実 743371	39-117	切換スイッチ
実 868526	43-22189	切換スイッチ	実 762852	39-25351	操作開閉器
実 868527	43-22190	切換スイッチのストッパ装置	実 730988	38-17239	切換スイッチ
実 868529	43-22191	外部操作形回路遮断器	実 909178	44-26979	制限開閉器
実 868620	43-3288	回路遮断器操作装置	実 758536	39-20045	電磁接触器隔壁取付装置
実 876241	43-30980	電磁接触器	実 803433	40-35547	タッチボタン
実 743345	39-3707	押釦スイッチ	実 751869	39-11462	タッチボタン
実 880111	44-1169	時限開閉装置	実 833548	42-5630	圧力応動開閉器
実 893554	44-17536	電磁接触器	実 741236	39-1628	液流応動開閉器
実 901023	44-23063	可逆押釦開閉器	実 761433	39-22446	切換スイッチ
実 907956	45-1455	回路遮断器操作装置	実 768484	39-29523	切換スイッチ
特 562891	44-14969	電磁接触器	実 819730	41-14582	押釦開閉装置
実 929412	45-21548	揺動電気機器における水銀端子装置	実 748794	39-6240	箱型電磁開閉器
実 927715	45-21547	揺動電気機器における口出装置	実 831541	42-1798	近接スイッチ検出素子
特 282490	36-3407	圧縮空気操作装置	実 821209	40-32820	圧力開閉器
特 506438	42-11167	断路器用操作装置	実 897316	44-20170	電磁接触器の可動接触子支持装置
実 830059	42-284	U形断路器台	実 880555	44-3410	押ボタンスイッチ
実 818675	41-13128	連結金具	実 919022	45-11142	二段ばねリミットスイッチ
実 907586	44-31369	開閉器の接触装置	実 823407	41-19459	圧力開閉器
特 440053	39-16715	直立圧接形断路器	実 809784	41-2422	圧力スイッチ
実 941986	46-4896	大電流用開閉器	実 946045	46-10696	開閉器用接片の固定部
実 927673	45-23661	負荷開閉器	実 897295	44-17531	電磁接触器
実 816384	41-9469	断路器用集電装置	実 823410	41-18826	近接スイッチ
実 830027	42-440	断路器	特 584248	43-23254	切換開閉器
実 791871	40-25378	断路器用軸受装置	実 885950	44-1645	接触端子の支持装置
実 762814	39-25330	断路器用動力操作器の手動操作鎖錠装置	実 806144	40-34901	押釦スイッチ
実 830078	42-1074	摺動接触開閉器	特 454976	40-3340	近接スイッチ
実 816375	41-9218	消弧装置付断路器	実 948877	46-15212	近接スイッチ
実 836506	42-9782	三相断路器	実 762863	39-26331	スイッチ
実 798719	40-26694	切換開閉器の鎖錠装置	実 792686	40-25165	切換開閉器
実 843312	41-13401	断路器	実 795210	40-23327	継電器の共振音防止装置
実 818678	41-13400	断路器	実 867463	43-19699	電磁開閉器
			実 912090	45-3244	電磁空気式単位スイッチ
			実 844314	42-17529	断路器



特 許 と 新 案



日立製作所では所有している全部の特許・実用新案を全て有償開放しております。

このリストには、日立製作所所有の特許・実用新案で、日立製作所が実際に使用したものの中から、選んで掲載いたしました。

なお、照会・実施のご希望のございます場合は右記までご連絡願います。

問合先：国内関係・日立製作所特許部特許営業グループ
海外関係・日立製作所国際事業部欧米部

電 話：(03) 270-2111 (大代表)

住 所：〒100 東京都千代田区大手町 2-6-2 (日本ビル)

■ 開 閉 器

登録番号	公告番号	名 称	登録番号	公告番号	名 称
実 883035	44-6595	電磁接触器	実 765029	39-24757	遠心力開閉器
実 851257	43-3303	切換開閉器ノッチ止め装置	実 761478	39-22439	押ボタンスイッチの固定接触片保持装置
実 922510	45-17088	多回路切換開閉器	実 753811	39-15348	カム型開閉器におけるカム付ドラムの取付調整装置
実 847850	42-21386	切換開閉器	実 859992	43-11375	防爆型圧力開閉器
実 797590	40-26932	押釦開閉器の鎖錠装置	実 783842	40-13949	防爆型圧力開閉器
実 768443	39-32047	自由引外形操作開閉器	実 817812	41-6523	ロック式押ボタン開閉器
実 816395	41-9473	操作開閉器	実 830031	42-903	カム型開閉器におけるカム板回り止め装置
実 762806	39-25319	縦切形断路器	実 915187	45-9224	押釦開閉器
実 765016	39-25327	断路導刃振れ止め装置	実 733914	38-22233	水銀スイッチ保持装置
実 740109	38-26413	操作開閉器	実 797500	40-28665	遠心力開閉器
実 877419	43-28992	気中しゃ断器の引出し鎖錠装置	実 830044	41-19093	錠前
実 840225	42-5629	断路器	実 939258	45-29952	負荷断路器
特 275569	35-15327	負荷開閉器	実 782364	40-10516	小型電磁石
実 819835	41-16349	鎖錠装置付操作開閉器	実 786712	40-12598	箱型電磁接触器の端子金具動き止め装置
実 789975	40-20825	負荷遮断器	実 783852	40-14741	近接スイッチ検出コイル
実 873654	43-27861	ロック式断路器手動操作装置	実 824484	41-20658	近接スイッチ検出部
実 844352	42-17211	断路器用インターロック式入切操作装置	実 841901	42-14961	相間バリヤ垂直保持装置
実 860012	43-14273	断路器用フック装置	実 821505	41-17946	電磁接触器
実 816445	41-11279	断路器二重鎖錠装置	実 818637	41-15453	電磁接触器の接触子支持体案内装置
実 903343	44-29237	断路器連動機構	実 821496	41-17063	電磁接触器
実 777130	39-32526	双投式切換断路器	実 781318	40-6767	バネ復帰形切換開閉器
実 766354	39-32064	断路器	特 242370	33-524	押釦開閉器
実 831533	41-24209	碍子	実 936723	45-29957	操作開閉器の防水装置
実 941982	46-2580	回転部の気密装置			
実 850265	43-736	押釦スイッチ			
実 854628	43-4965	電磁接触器			

■ 冷 凍 機

登録番号	公告番号	名 称	登録番号	公告番号	名 称
特 630532	46-18700	吸収式冷凍機の蒸発器の冷媒液面保持装置	実 797464	40-29163	冷凍機用油分離装置
特 417904	38-15283	圧縮機の油上り防止装置	実 842535	42-15017	圧縮機
実 733900	38-20389	圧縮機における油上り防止装置	特 493705	41-20910	冷温水器
特 416147	38-5093	油分離器を有する冷凍装置における冷凍用圧縮機内の潤滑油泡立ち防止装置	特 513987	42-19074	冷凍機用圧縮機の油上り防止装置
特 432916	39-10790	冷凍機用圧縮機の油上り防止装置	実 851245	43-3167	冷凍機用半密閉形圧縮機
実 733899	38-20388	冷凍機用圧縮機の油上り防止装置における羽根車	実 857185	43-7475	冷凍装置の液戻り安全装置
実 756868	39-23282	冷凍機用圧縮機の油上り防止装置	実 857192	43-7476	冷凍装置の液戻り安全装置
実 828217	40-13732	圧縮機の油上り量制御装置	実 873623	43-20385	冷蔵庫用冷凍装置
			実 873624	43-24437	冷蔵庫用冷凍装置
			実 873710	43-25139	油戻し装置
			実 873722	43-25141	油分離器
			実 902502	44-28067	流体機械の潤滑装置
			特 577766	43-4067	冷凍装置の液戻り安全装置

日立ガス冷温水ユニット

公害防止の見地から、重油などに代わって都市ガスがビル空調などの熱源とされる傾向が定着しつつあり、これに伴って、ガスだき吸収式冷凍機が採用される例が増加している。日立製作所では、重金属化合物を使用しないこと、高圧部が大気圧より十分低い圧力であることなど、公害防止、安全性確保を徹底させたガスだき二重効用吸収式冷凍機の開発を行ない、100US.RTから500US.RTの7機種シリーズを完成した（商品名：日立ガス冷温水ユニット）。

主な特長

- (1) ガス冷温水機の一般的な利点
 - (a) 1台で冷暖房に使える。
 - (b) 運転者の資格が不要である。
 - (c) 二重効用サイクルを採用し、効率が高い。
- (2) 無資格の運転員でも安全に運転できるようにになっている。
 - (a) ボイラ部の圧力が、大気圧より十分低くなるように、日立独自の並列給液サイクルを採用したので、仕様表の

条件では-200mmHgであり、異常があっても絶対に大気圧を超えない。(b) 重要な安全装置はすべて多重保護、あるいは自己点検方式になっている。(c) 溶液に添加する腐食防止剤には、毒性のある重金属化合物を使用していない。(3) ボイラの斜め上部に本体を置いたので幅、高さが小さく、最大の機種でも工場完成の際、一体のままで輸送できる。（日立製作所 機電事業本部）

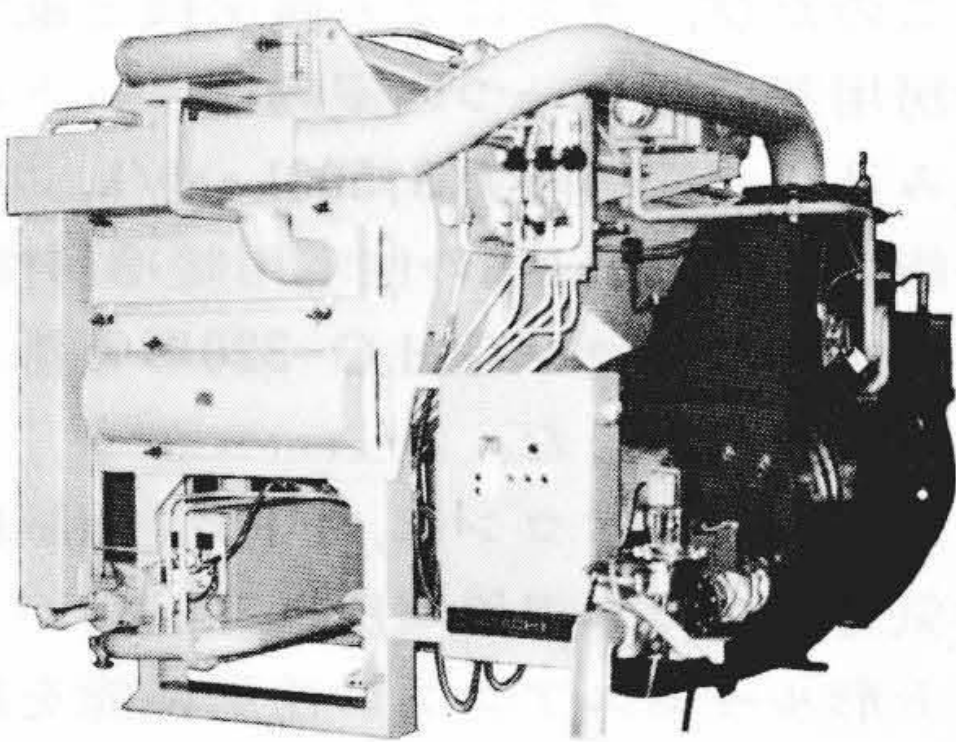


図1 吸収式日立ガス冷温水ユニット

表1 日立ガス冷温水ユニット仕様

項目	形式	HAU-F-10D	HAU-F-11D	HAU-F-12D	HAU-F-13D	HAU-F-14D	HAU-F-15D	HAU-F-16D	HAU-F-17D
冷房能力 (US.RT)		100	125	160	200	250	315	400	500
冷水	温度 (°C)	入口温度 12, 出口温度 7							
	水量 (m³/h)	60.5	75.6	96.8	121	151	191	242	302
温水	温度 (°C)	入口温度 55, 出口温度 60							
	水量 (m³/h)	60.5	75.6	96.8	121	151	191	242	302
冷却水	温度 (°C)	入口温度 32, 出口温度 38							
	水量 (m³/h)	95	119	152	190	238	300	380	475
燃料消費量 (ガスの場合)	消費量 (Nm³/h)	82	103	132	164	205	259	328	410
	(高位発熱量 5,000 kcal/Nm³の場合)								
外形寸法	長さ L (mm)	3,646	3,646	3,646	4,496	3,832	4,722	4,654	5,770
	幅 W (mm)	2,390	2,390	2,390	2,390	2,600	2,600	2,940	2,940
	高さ H (mm)	2,050	2,050	2,050	2,050	2,570	2,570	2,950	2,950
搬入重量 (t)		5.7	6.0	6.2	7.3	10.2	11.5	15.4	17.5

日立空気清浄装置エアトピア クリーン 大容量シリーズ

日立空気清浄装置エアトピア クリーン は学校、幼稚園、図書館、喫茶店、レストラン、事務所、会議室、応接室などに設置することにより室内の汚れた空気をクリーンアップし、清浄な空気による快適な環境づくりのために開発された（図1）。

1. 主な仕様

おもな仕様は表1に示すとおりである。

2. 主な特長

- (1) 有害ガスを中和フィルタと活性炭フィルタの併用で高効率に除去する。
- (2) 日立製作所が独自に開発した新機構の静電フィルタ採用により大気塵埃を高効率で除去する。
- (3) ダクト施工により外気の入入れが可能である。また、ダンパの開閉により、外気取入量が簡単に調整できる。
- (4) 処理風量が大いので広い部屋のすみずみまで清浄な空気を行き渡らせる。
- (5) 陰イオン発生器によって室内の空

気を新鮮に生まれ変わらせる。

- (6) 冷温水コイルを組み込めば、冷暖房機の室内ユニットとして使用でき、夏季冬季を通して爽快に過ごせる。

（日立製作所 商品事業部）

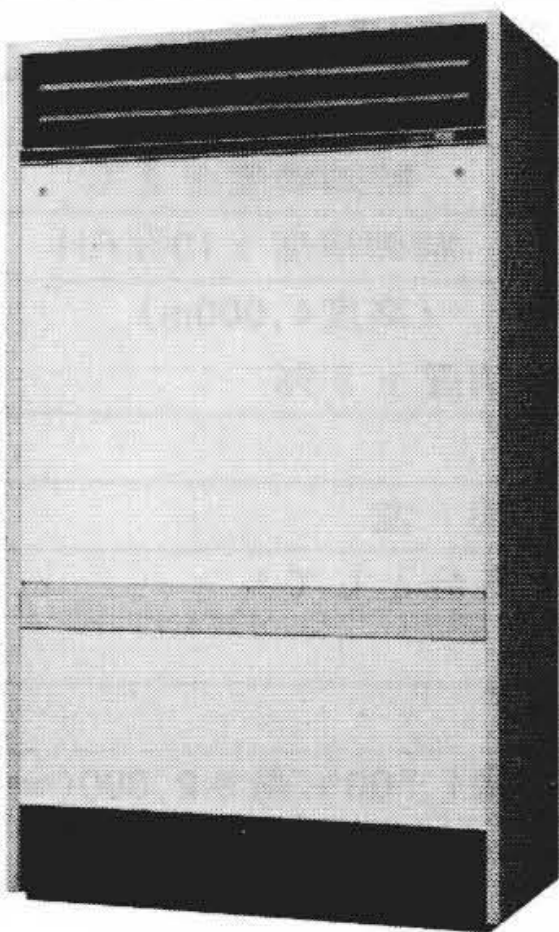


図1 日立空気清浄装置エアトピア クリーン UDP-200SN形

表1 日立空気清浄装置エアトピア クリーン 大容量形仕様

項目 (単位)	形式	UDP-200SN	UDP-300SN
本体外観	単位	前面アマティッシュホワイト(5Y9.1/0.5) 側面フェーブルグレー (10YR 7.5/0.5) 全鋼板製高級メラミン樹脂焼付塗装仕上げ	
	幅	mm	820 1,100
	奥行	mm	520 520
外形寸法	高さ	mm	1,735 1,735
	調節ノッチ	—	強 弱 強 弱
風量	処理風量	m³/min	20 8 30 16
	送風機	—	両吸込多翼送風機
空気清浄化	除塵方式	—	静電フィルタ(ホリプロビレン)
	効率	%	90(比色度法)
	最小捕集粒径	μ	0.1
	除ガス方式	—	中和フィルタ(再生可), 活性炭フィルタ
浄化方式	効率	%	SO₂: 95 H₂S, NO₂: 20
	陰イオン	個/cc	放電式発生器 1×10³
適用床面積	m²	30~110	50~170
電源	—	AC 1φ 100V 50/60Hz	
消費電力	W	250/310	330/410
安全装置	—	高圧短絡装置, 高圧自動停止装置, 安全キー	
製品重量	kg	120	150

注：本仕様は改良のため予告なく変更することがある。

日立パルエアコン GHC-320形

このたび、ガスによる暖房機と電気冷房用蒸発器を一つの室内ユニットに組み込んだ暖房能力3,500kcal/h、冷房能力2,000kcal/hの住宅用暖冷房機、日立パルエアコンGHC-320形を新たに開発し発売した。

日立パルエアコンは、FF式(強制給排気方式)ガス温風暖房機に、セパレート形ルームエアコンの冷房機能を組み込んだもので、室内ユニット(GHC-320)、室外ユニット(RAC-221)およびこの二つのユニットを連結する冷媒配管で構成している。

1. 外観および仕様

図1は日立パルエアコンGHC-320形の外観を、表1は概略仕様を示すものである。

2. おもな特長

- (1) 1台の室内ユニットで暖房、冷房が可能である。
- (2) 暖房熱源にガスを使用しているので、安定した強力な暖房が可能である。

- (3) 燃焼ガスを強制的に屋外へ排出し、また暖冷兼用のルームサーモを内蔵しているので、安全かつ快適な暖冷房ができる。
- (4) 三重、四重の安全装置を備え、安全性の確保には十分考慮を払っている。
- (5) 冷温風を強制的に室内に循環させ、風向は上下左右、方向を自由に変えられるので、室内をむらなくスピーディに暖冷房できる。

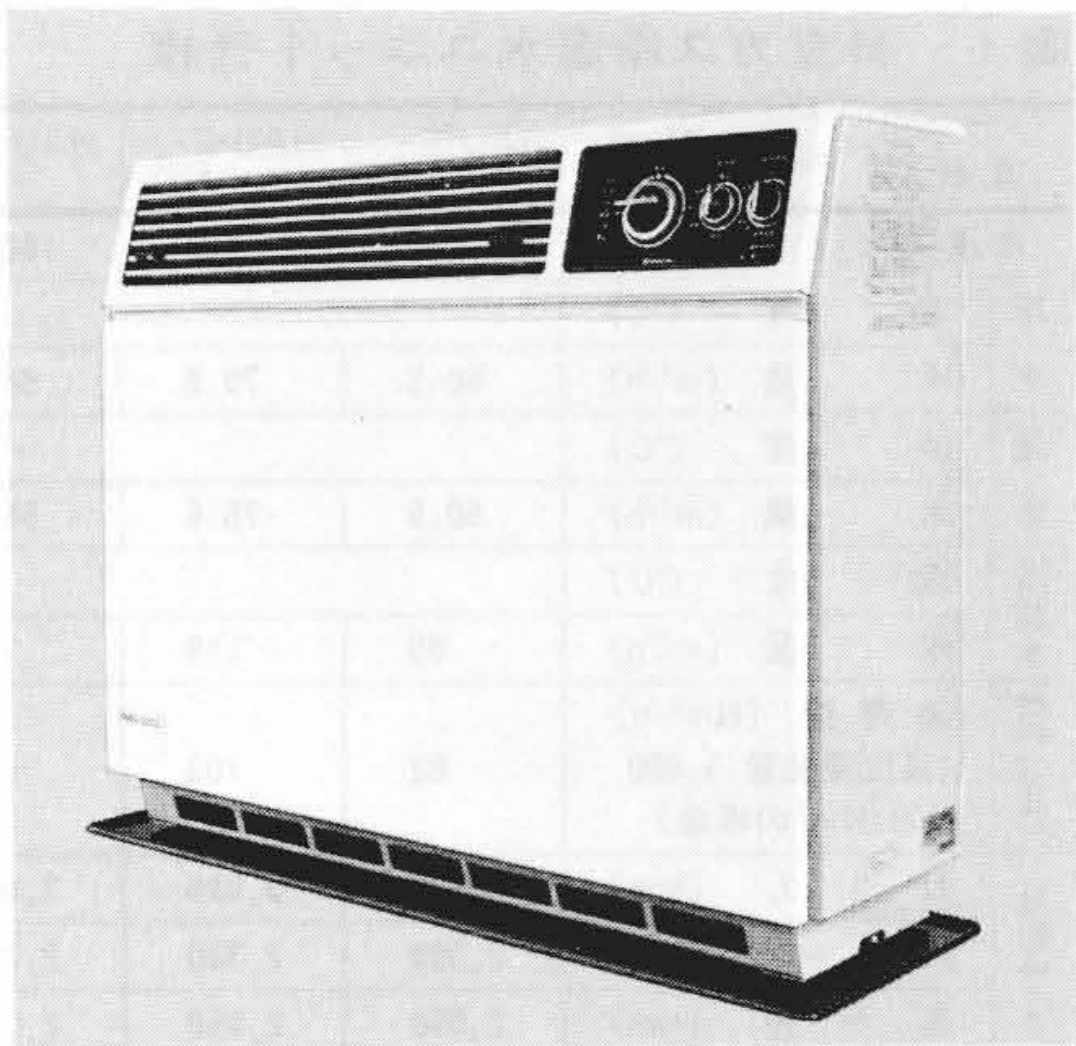


図1 日立パルエアコン GHC-320形

- (6) 加湿装置を内蔵している。
- (7) 据付工事が簡単で、据付場所の制約が少ない。
- (8) 都市ガス(6B)から天然ガス(13A)へのガス種転換が、ノズルを交換することなくきわめて容易に行なえる。
- (9) 燃焼器は、新燃焼方式のFF式ブラスト燃焼器、室外ユニットは日立独特の吸気冷却方式であるため静粛な運転ができる。

(日立製作所 住宅設備事業部)

表1 日立パルエアコンGHC-320形の仕様

項目		仕様
形 式	室内	GHC-320
	室外	RAC-221
外形寸法	室内	高680×幅850×奥350(mm)
	室外	高405×幅695×奥320(mm)
暖 房 能 力	暖 房 能 力	3,500 kcal/h
	ガ ス 種 類	都市ガス(6B, 13A)
冷 房 能 力	消 費 電 力	80W
	冷 房 能 力	2,000 kcal/h
電 源	消 費 電 力	1,100W
	電 源	単相 100V 50Hz

日立自動車環境試験装置

日立自動車環境試験装置は、地球上のあらゆる気象、環境を人工的に再現した実験室内に、完成車あるいはエンジン単体などを入れて、動的性能、機能試験を行ない、学術研究、技術開発及び信頼性向上のためのデータをとるための装置である。

近年、我が国の自動車生産台数はついにアメリカに次ぐ第2位となり、輸出先は数十個国にも及び、世界の車として伸長している。しかし、「マスキー法」に代表される公害問題、エアバッグに代表される走行安全性など、いずれも大きな社会問題としてその解決が

迫られている。

これらの問題解決を迅速かつ安全に行なうためには、様々な気象環境下における完成車としての走行状況を再現して、多角的な実験研究が行なえる環境試験装置が必要である。

これらの装置の代表例として、財団法人日本自動車研究所へ納入した装置仕様について表1に紹介する。

(日立製作所 機電事業本部)

表1 装置実験室仕様

項目	第1実験室	第2実験室
室 寸 法	幅5×奥行6×高さ3.2(m)(有効)	幅5×奥行6×高さ3.2(m)(有効)
室 内 温 度	-40~+50℃ 制御精度±2℃	-40~+50℃ 制御精度±2℃
室 内 湿 度	30~80%RH 制御精度±10%RH	30~80%RH 制御精度±10%RH
室 内 圧 力	760~460Torr (高度4,000m) 制御精度±2%	760~460Torr (高度4,000m) 制御精度±2%
室内熱負荷	max 200,000 kcal/h	
室内試験物	2,000kg(鉄換算量)	同 左
新鮮空気量	900m³/h (ただし、エンジン吸気用及び作業員4名分として)	
室内付帯設備	1. 照 明	1. 照 明
	2. クレーン設備	2. クレーン設備
	3. 出入口ドア 幅1,500×高さ2,000(mm)	3. 出入口ドア 幅1,500×高さ2,000(mm)
	4. サービスホール 100φ×6個	4. サービスホール 100φ×5個
	5. 観測窓	5. 観測窓
	6. 定 盤	6. 定 盤
	7. 排気ノズル	7. 排気ノズル
	8. 燃料サービスタンク×2	8. 燃料サービスタンク×2

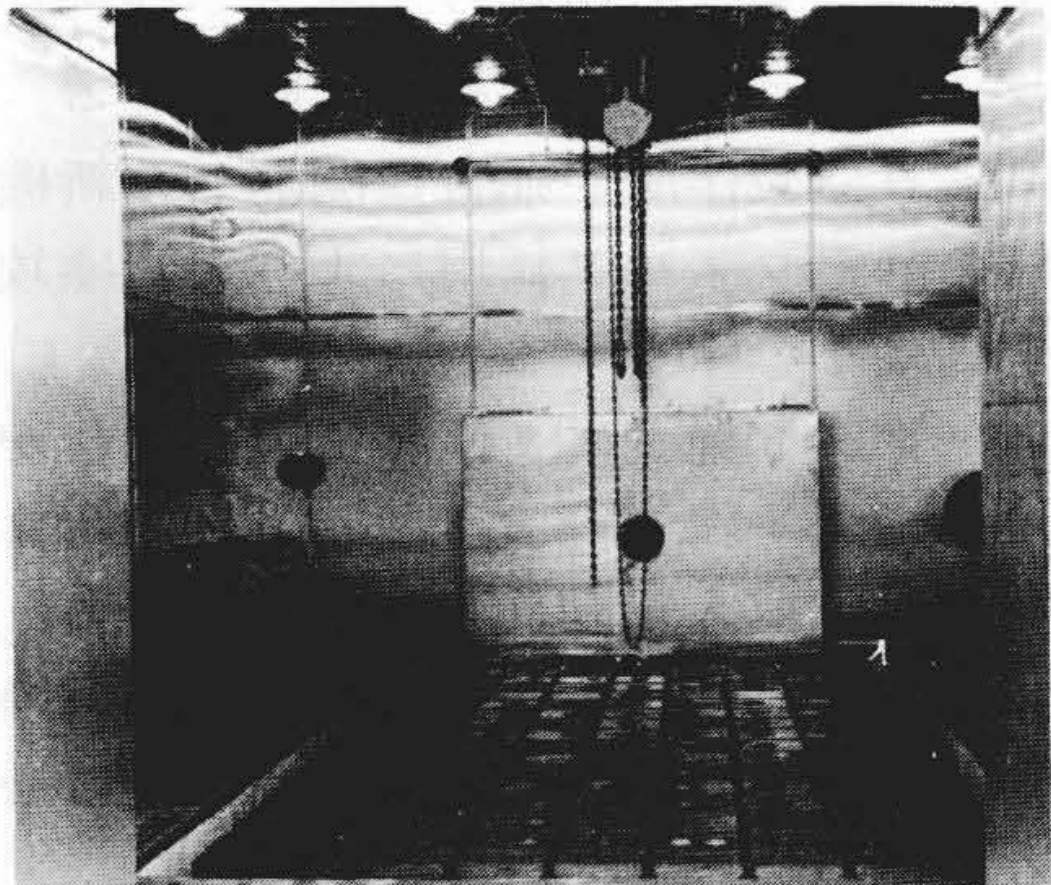


図1 環境実験室

MS-ADブレーキ付ギヤモートルシリーズ

日立製作所は従来、運搬機械の急速停止・荷重保持用として好評を得ていた「MCS-SYブレーキ付ギヤモートルシリーズ」に変わるものとして、このほど特性的には同等である「MS-ADブレーキ付ギヤモートルシリーズ」を完成した。表1は、その機種と標準仕様を示すものである。以下にその概略を紹介する。

1. 主な特長とMCS-SYブレーキとの比較

(1) 小形軽量になった。

MCS-SYブレーキ付のものに比べて、全長で約14～22%短縮し、重量で

約12～35%軽量化した。

(2) 交流電源で使用できる。

ブレーキ操作電流は直流であるが、ギヤモートル本体に付いている整流箱により交流電源でそのまま使用できる。

(3) 保守が容易である。

部品点数を極力少なくしたので、信頼性がより向上した。

2. 主な用途

急速停止や停止中の荷重による逆転防止を必要とする荷役の運搬機械など。

3. 外観構造と電磁ブレーキの構造

MS-ADブレーキ付ギヤモートルの

外観は図1に、その構造は図2に示すとおりである。

(日立製作所 商品事業部)

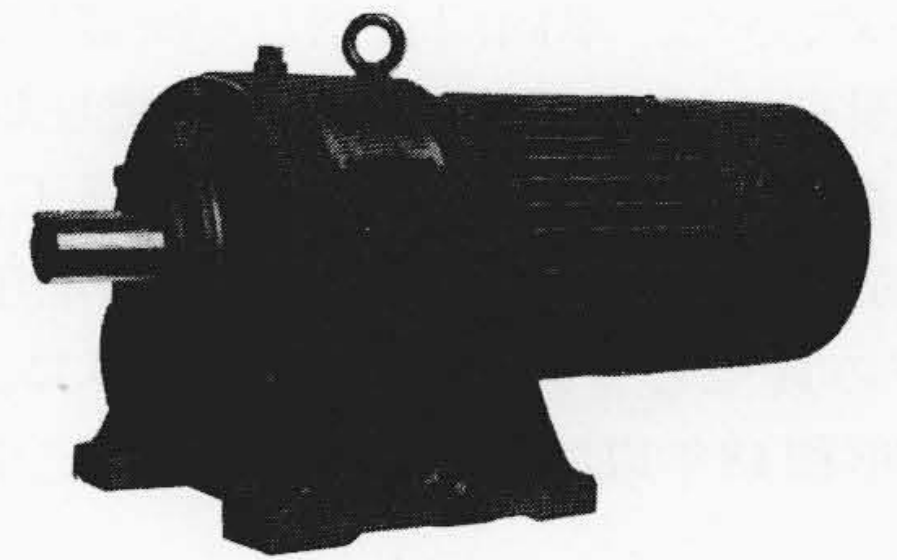


図1 MS-ADブレーキの外観

表1 機種と標準仕様

rpm		機種略号	出力(kW)	定格	ブレーキトルク(%) 50Hz/60Hz	標準電圧 50Hz/60Hz
50Hz	60Hz					
33	40	SDGE	0.4～11	30分及び連続	150/180	200V
50	60	DGE	0.4～15			
75	90	EGE	"			
100	120	GGE	"			
150	180	IGE	"			
300	360	RGE	0.4～11	続		

番号	名称
①	ブレーキばね
②	電磁石
③	取付ボルト
④	ブレーキ板
⑤	摩擦板
⑥	固定板
⑦	カラー
⑧	調整ボルト

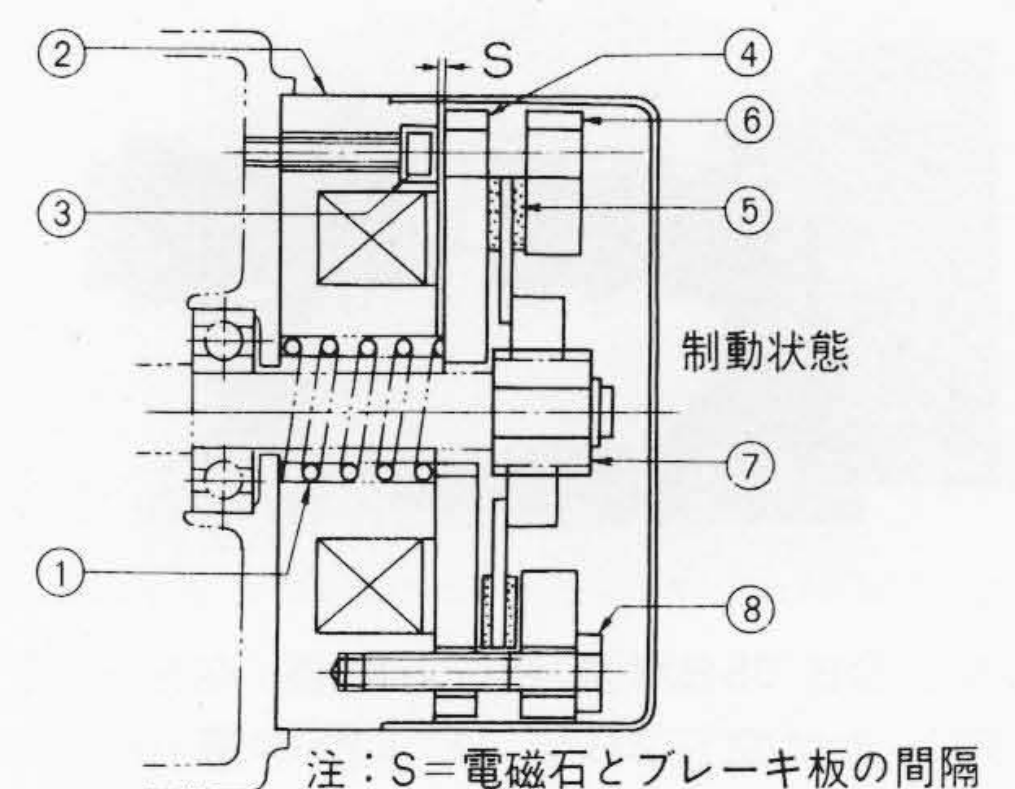


図2 MS-ADブレーキの構造

AN200形日立プロセス吸光分析計

近年、工業用プロセスの多様化により、プロセス中の液体の品質測定が重要視されてきている。

従来、このような液体の濃度、色度の連続測定には適当な分析計が少なく、実験室用の手動分析計を用いるか、あるいはpH、導電率、比重、時間などの間接的な測定により行なわれていた。しかし、このような方法では測定に時間を要し、良い測定結果が得られない。

このような現状を打開し、効果をあげるために生まれたのがAN200形日立プロセス吸光分析計である。本計器は可視から紫外域における光の吸光量を測定し、液体の成分濃度、色度などを連続測定するものである(図1)。

1. 主な特長

(1) 測定精度が良い。

分散能の優れた回折格子(グレーティング)を分光系に用いているので測定精度が優れている。

(2) 安定性が良い。

単一光源、単一検出器のダブルビー

ム測光方式を用いているので、電源変動、あるいは光源、検出器などの特性変化の影響を受けにくく、安定性が優れている。

(3) 測定対象が広い。

分光系に回折格子を用いているので、

測定対象に最も適した波長を、広い波長域にわたって任意に選定できる。したがって、測定できる対象が広がっている。

2. 主な仕様

- (1) 測定原理：可視、又は紫外線吸光法(波長200～600nm)
- (2) 測定方式：ダブルビーム測光
- (3) 再現性：±1%
- (4) 測定範囲：吸光度0～2(最大)
- (5) 出力：DC 4～20mA, 又は0～16mA

3. 主な用途

- (1) 化学調味料原料製造工程における成分濃度の連続測定
 - (2) 食用油製造工程における色濃度の連続測定
 - (3) 砂糖精製の脱色工程における脱色材疲労度の連続測定
 - (4) 食品着色料濃度の連続測定
 - (5) 食品中の残留有害物の連続測定
- (日立製作所 計測器事業部)

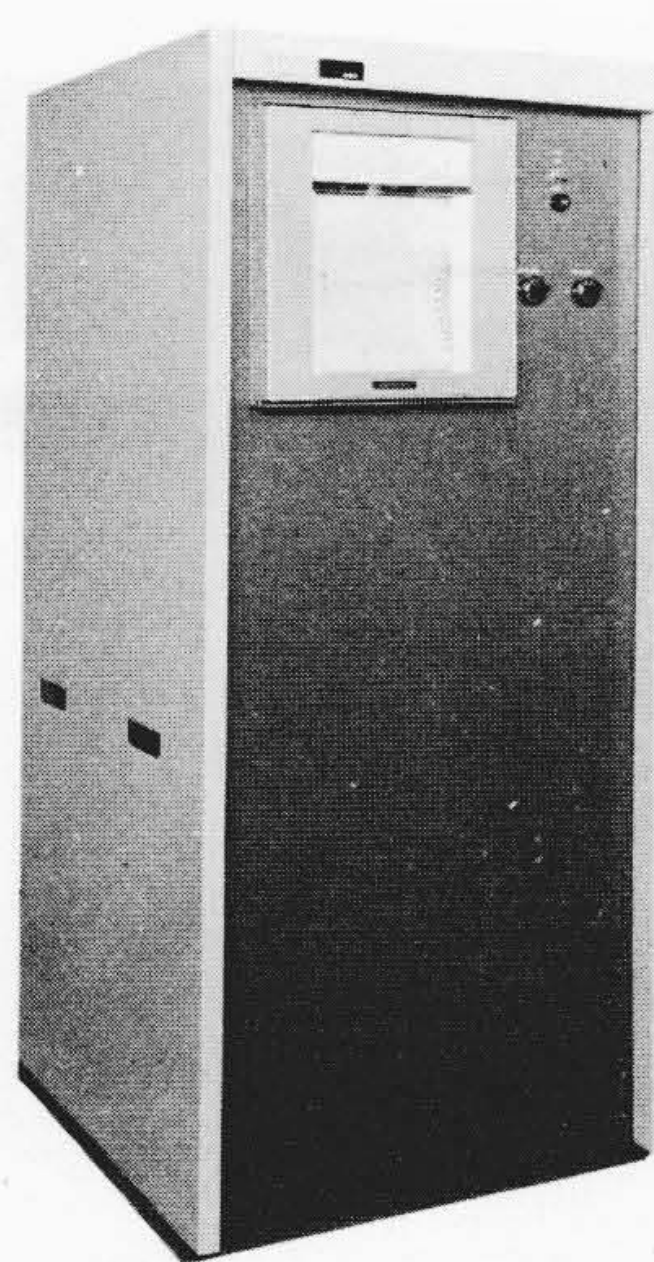


図1 AN200形日立プロセス吸光分析計

交流車両用日立真空しゃ断器

交流電気車両には主回路の開閉及びしゃ断を行なうため、従来空気しゃ断器が搭載されていたが、最近車両の軽量化及び保守点検の省力化を目的として真空しゃ断器が多数使用されるようになってきた。車両用真空しゃ断器は、日本国有鉄道に昭和43年に定格電圧24kV及び30kVの試作器を各1台納入し、現車試験を経て昭和45年より定格電圧24kVの真空しゃ断器が電気機関車に、また昭和48年以降の新幹線電車に定格

電圧30kVの真空しゃ断器が採用されたほか、韓国首都圏電車に定格電圧27.5kVのものが採用されている(図1, 2)。

1. 主な特長

真空しゃ断器は真空中の高い絶縁耐力と速い絶縁回復速度を利用したもので、固定、可動電極を真空容器の中に配置し金属ベローズを介して可動電極を外部より開閉操作するものであり、他のしゃ断器に比べて下記の特長を持っている。

っている。

(1) 小形軽量

同定格の空気しゃ断器に比べ、容積は50～80%、重量は35～80%と小形軽量である。

(2) 長寿命で保守点検が容易

しゃ断性能が優れているため、アーク時間が短く接触子の消耗が少なく長寿命であるほか、しゃ断器の構造が簡単になるので保守点検工数を大幅に低減することができる。

2. 構造及び主な仕様

図1は在来線電車用定格電圧24kV、CB105B形を、図2は新幹線用定格電圧30kV CB201形の外観を示すものである。しゃ断部は極間絶縁を兼ねた保護筒の中に真空バルブを収納した構造で、定格電圧24kV用は1点しゃ断、30kV用では2点しゃ断方式である。このしゃ断部は機構箱から対地絶縁がい管により水平に保持されている。

(日立製作所 機電事業本部)

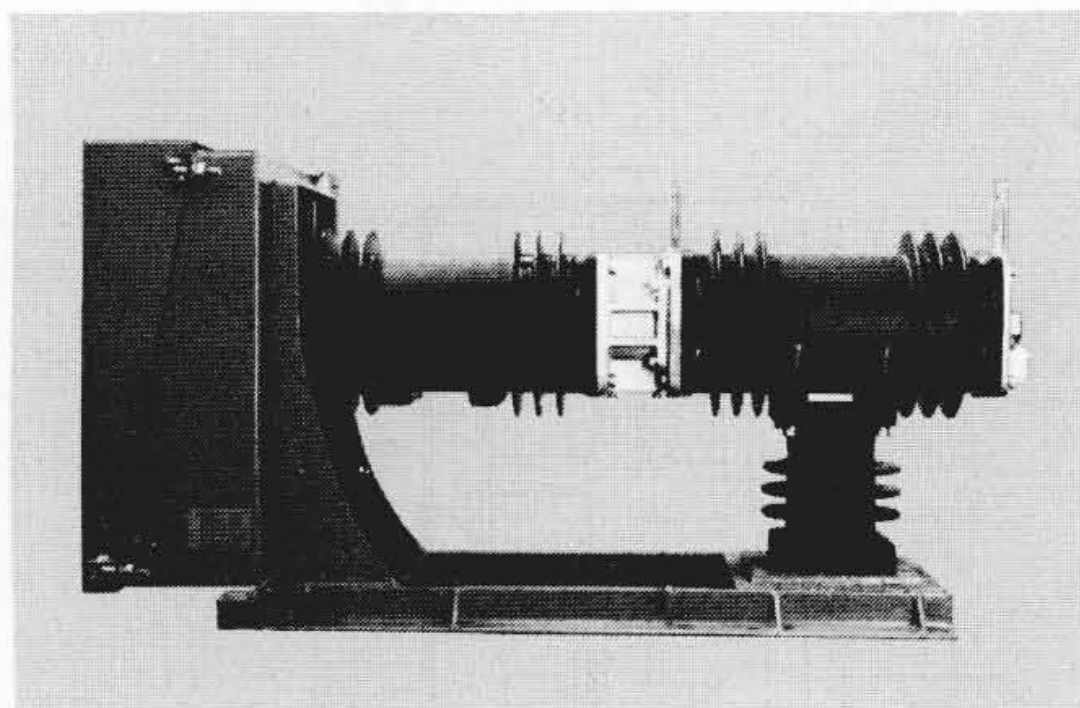


図1 CB105B形真空しゃ断器(在来線電車用) 定格電圧24kV, しゃ断容量100MVA 1点しゃ断方式

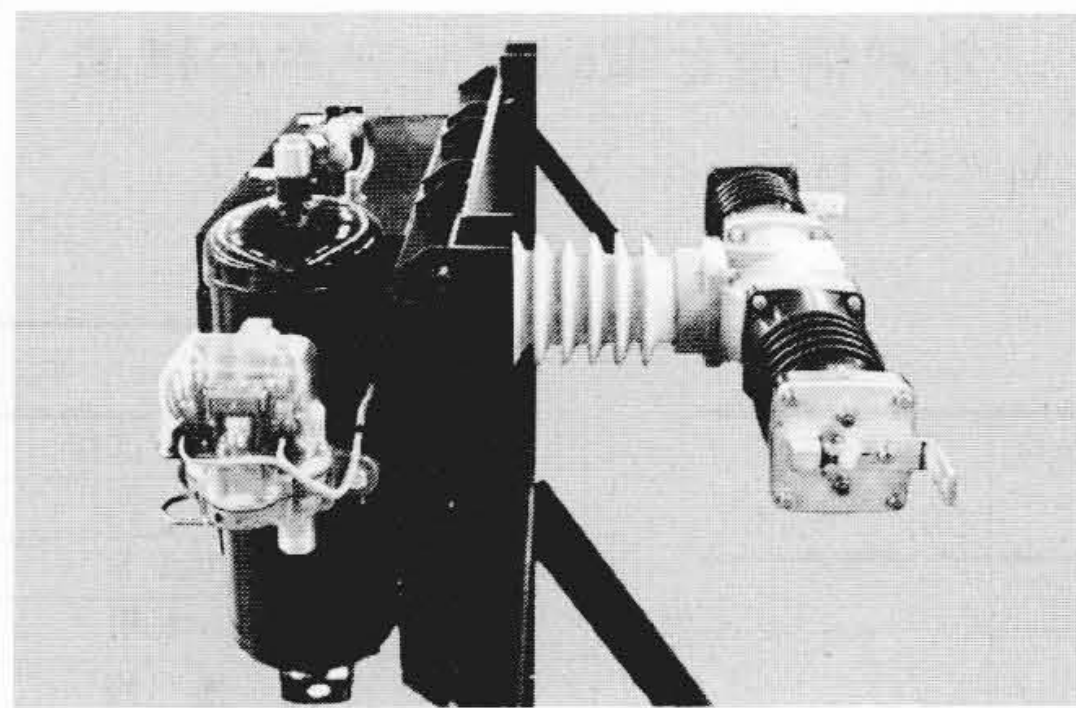


図2 CB201形真空しゃ断器(新幹線電車用) 定格電圧30kV, しゃ断容量100MVA 2点しゃ断方式

日立青果物くん蒸・処理装置

バナナ、オレンジ、レモンなどの青果物の消費量増加に伴い、外国からの輸入が活発になってきた。これら輸入青果物に付着して侵入する害虫の被害を未然に防ぐため、各輸入港では「植物防疫法」に基づきくん蒸・処理が義務づけられている。現在、くん蒸は強い殺虫力を有するシアンガスにより行なっている。日立プラント建設株式会社ではシアンガスを発生から投入、くん蒸、排気、吸収、除毒に至るまで正確かつ安全に処理できる無公害な日立青果物くん蒸・処理装置を開発し、数多くの実績を重ねてきた(図1)。くん蒸倉庫内には、空気調和設備を設け、青果物の保存を行なうとともにシアンガスに対する防爆としゃ断などの安全性にも特殊な考慮を払っている(図2)。

本装置は、顧客をはじめ都道府県公害担当部署、農林省植物防疫所からも絶大な好評を得ており、この分野で多くの特許も申請中で、国内でも関係方面に数多くの実績をもっている。

(日立プラント建設株式会社)

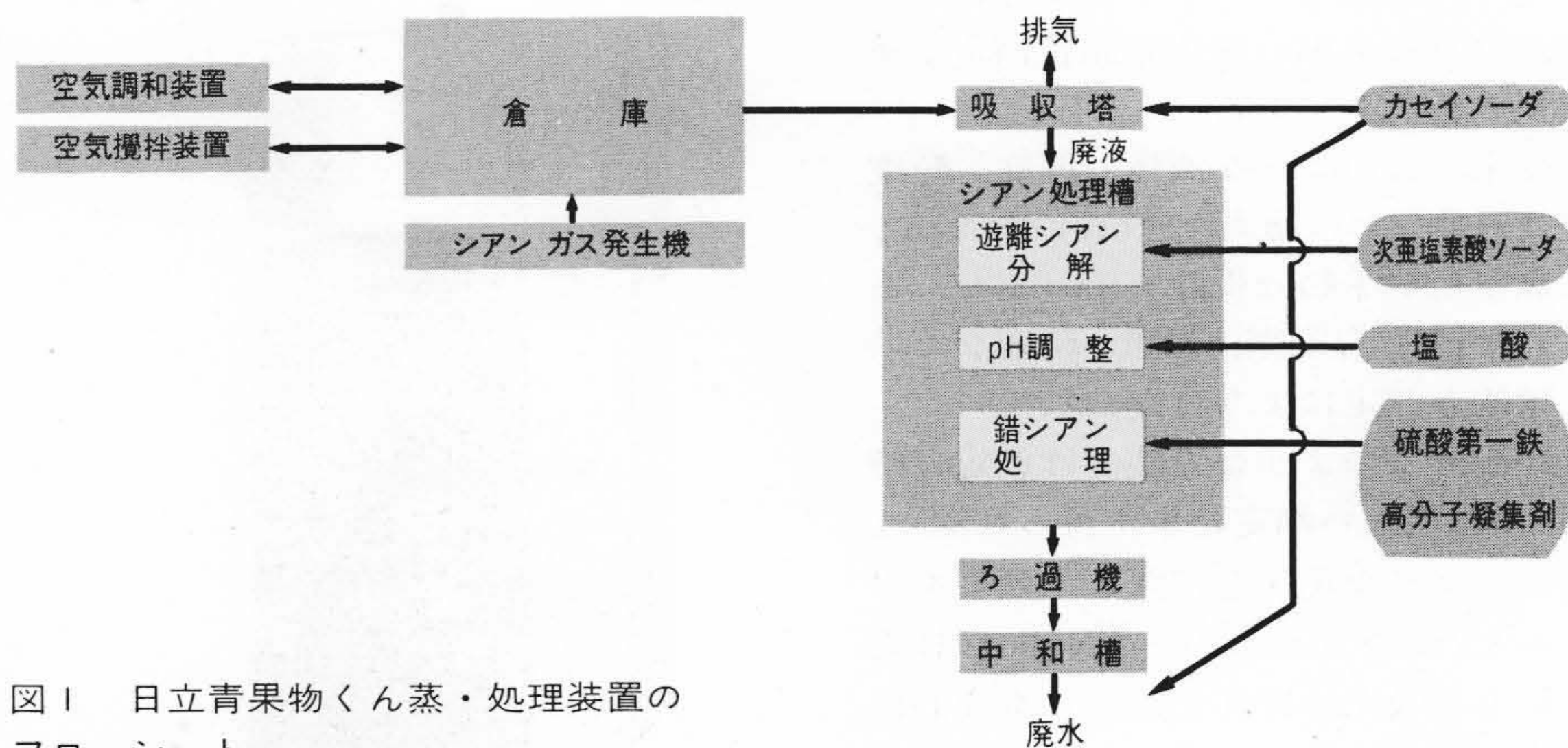


図1 日立青果物くん蒸・処理装置のフローシート

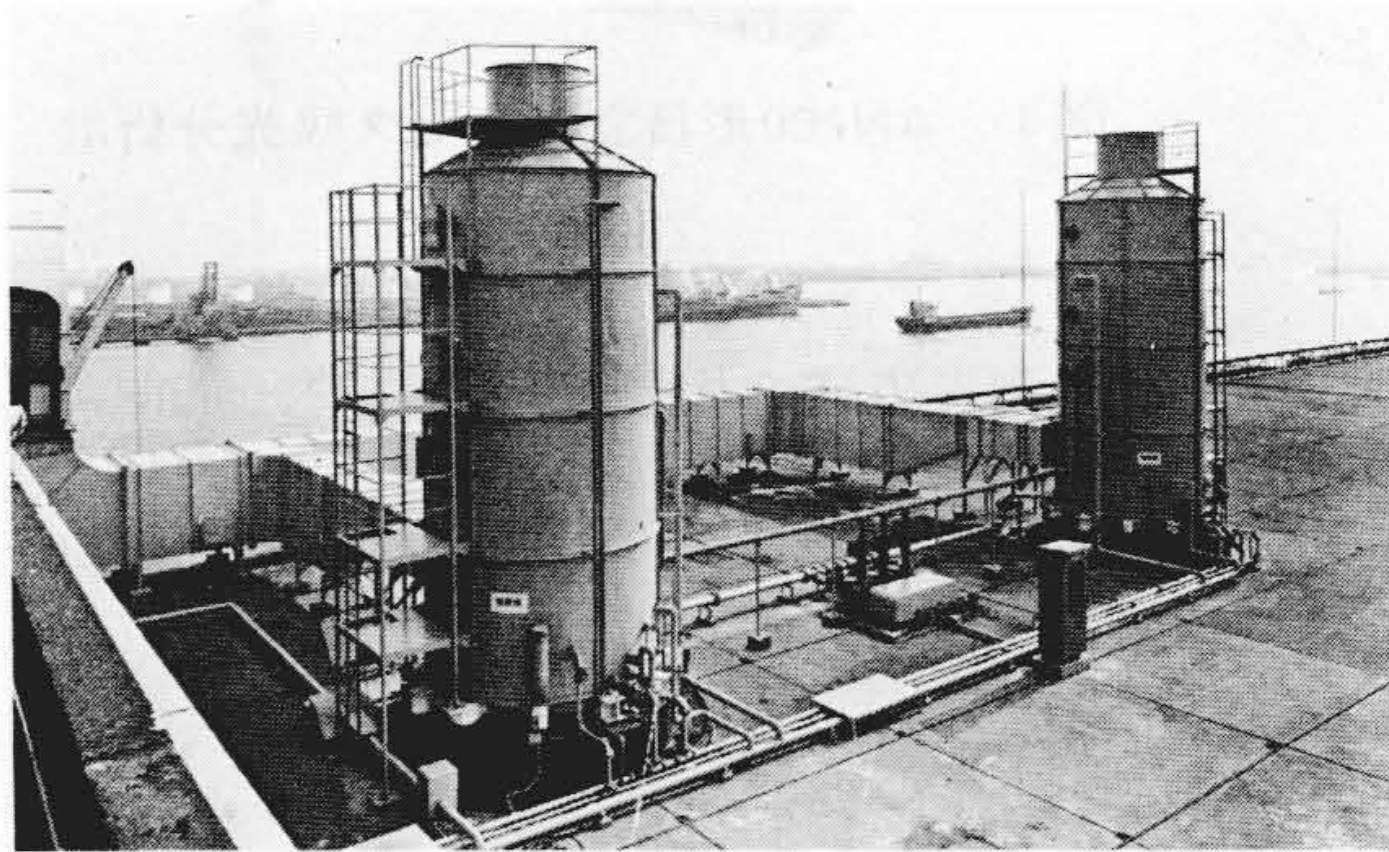


図2 シアンガス吸収塔